

秋田市立中通小学校「環境美化の集い」

東北森林管理局 技術普及課、秋田森林管理署

6月13日に、秋田市立中通小学校4年生33名を対象とした「環境美化の集い」を実施しました。この活動は、木製プランターを使用した緑化活動や森林教室を通して、児童の豊かな心を育むとともに、森林について理解を深めていただくことを目的に、平成14年度から実施しているものです。24回目となる令和7年度は、先輩から引き継いだ木製プランターの表面を紙ヤスリで磨き、木材の再利用について学習した後、4種類のきれいな花苗を植えました。また、「森と木の学習」を通して森林の役割について学びました。

MENU

1 木製プランターお手入れ

花を植えるプランターは、先輩たちが秋田スギの板材を使って手作りしたもので、毎年お手入れしながら大切に使い続けているものです。屋外に半年ほど展示されていたため、表面が日焼けして黒ずみ、泥汚れも目立ってきたことから、今年度も花を植える前に、お手入れをすることにしました。

はじめに、お手入れ前とお手入れ後のプランターを見比べながら、木製品のお手入れについて学びました。その後、紙ヤスリを使って、実際にプランターのお手入れに挑戦！子ども達は夢中になって汚れた部分を磨き、きれいになっていく様子に達成感を感じているようでした。



MENU

2 森と木の学習

森林が持つ様々な役割について、クイズを交えてお話ししました。クイズはやや難易度の高い内容でしたが、子ども達は元気よく手を挙げて答えてくれ、その正解率の高さには驚かされました。災害を防ぐ働き、水を蓄える働き、地球温暖化防止に貢献する働きなど、森林が果たす大切な役割について、当局職員の話に熱心に耳を傾けながら、理解を深めていました。



MENU

3 花苗の植付け

暑さに強く、初夏から晩秋にかけて咲き続ける4種類（ニチニチソウ、センニチコウ、ペンタス、コリウス）の花苗を植えました。子ども達は、花の名前の由来や特徴、開花期や花言葉について学んだ後、当局職員の説明やデモンストレーションを参考にしながら、一つひとつ丁寧に植えていました。

